

司書の目の付けどころ

各エリアにある特集棚では、毎回考え抜かれたテーマで特集展示を実施しています。それぞれの担当司書が2025年度の一押しをご紹介します。

頂上対決!? 勝手に万国博覧会 アクティブゾーン



裏テーマは「笑いは世界を結ぶ」。大阪・関西万博 2025のパロディ展示です。激辛料理に豪華なお洒落、足ワザ、顔の白塗りなど各国のユニークな名物を並べました。

どんなきもち? キッズスペース



複雑な気持ちを小さな子供に分かりやすく説明する時に本や絵本の存在は大活躍。そのためか、気持ちをテーマにした本も多数あり、とても充実した特集になりました。

入口はマンガから!! グローアップゾーン



グローアップゾーンの特集の中でも群を抜いて貸出冊数の多い特集となりました。ビジュアルでイメージできるマンガはやはり最強!! と実感することができました。

福よ、来い。 リラクゼーションゾーン



年初めということで、とにかくおめでたい展示にしようと思いました。たくさんの縁起物とともに、福を呼び寄せる感じにできたかなと思います。

まちと公園 ラーニングゾーン



公園のポテンシャルはたくさんあることを知ってほしくて、豊橋公園が目ざされている時期にあわせて特集を組んでみました。

植物画のひそやかな美 クリエイティブゾーン



草花の描かれた絵画は意外と多く、絵画と生物学で描き方が異なると気づいた特集です。立ち止まって手に取る方や、「こんな面白い本もあるの」といった声もありました。

コラム 立ち上げから5年を振り返って まちなか図書館長 種田 滯

毎日が困難で面白く、あっという間でした。若輩者の私に館長を任せてもらったこと、さまざまな形で館を支えてくださった全ての方にただただ感謝しかありません。



5年前、私たちスタッフはある想いをもって新図書館の立ち上げに奔走していました。それは「これまで図書館に足を踏み入れたことのない人たちにも利用される図書館をつくりたい」という想いです。図書館に対する心理的なハードルを極力下げた、中央図書館とは異なる魅力をもつ図書館を目指しました。わざわざ足を運んでくれた人には、何かしらの出会いや発見を届けたい。そう思い、さまざまな展示やイベントも行いました。見方によっては流行りの軽薄な図書館に映ったかもしれませんが、それでも、間口を広げるきっかけになったのであれば嬉しく思います。

新しさ、斬新さ、来館者数の多さといった分かりやすい魅力や成果だけでなく、図書館本来の役割や地域課題解決という視点も大切にしてきました。図書館が地域へもたらす成果が表れるのは、10年後 20年後かもしれません。コスパ・タイパが求められる時代には厳しいものがあります。それでも、すぐに結果が出ないことへ挑戦し続けることができ、そこへ投資できるのが公共の強みであり役割だと思います。これからも成長し続ける図書館であることを願っています。

まちなか図書館



豊橋市まちなか図書館
〒440-0888 豊橋市駅前大通二丁目81番地
emCAMPUS EAST 2F・3F
●電話番号 / 0532-21-5518
●開館時間 / 9:00~21:00
●休館日 / 第4金曜日(祝日の時は前日)、
年末年始、特別整理期間



豊橋市 まちなか図書館 検索

まちなか図書館情報誌

まちとしよlog

The Machinaka Library Magazine

2026
Vol.01



"知る"からはじまる! SDGs イベント特集

イベント・展示 Pickup!

司書の目の付けどころ

コラム(まちなか図書館長)

2025年度に実施した
イベントや展示の情報を
お届けします。

"知る"からはじまる!SDGsイベント特集

2025年8月は「知る"からはじまる!"を合言葉に、SDGsを統一テーマとし、トークやワークショップから展示まで、さまざまな関連イベントを行いました。

対談! 館長がいま会いたいひと 各地の海を知るプロサーファーが思う 豊橋の海の魅力とは?

■ 8/11(月)祝



海をはじめとした環境保全活動に取り組んでいるプロサーファーの萩原さんをお迎えしました。サーフィンの大会等で国内外の様々な海に入ってきた萩原さんが感じる豊橋の海ならではの魅力、海への想い、その環境を守っていくための取り組みについてお聞きしました。

ゴミゼロ 530運動50周年! 改めて知りたい530今昔

■ 8/30(土)



豊橋発祥の530運動について、広報大使のお二人とその歴史を振り返りました。図書館の書庫からは530運動の理念を記した当時の資料を発見!全国から視察が絶えず、大規模なシンポジウムまで実施していたことなどが分かりました。現在実施しているクリーンアップ大作戦やごみを出さないための工夫についてもお話ししました。

who made my clothes? ~私の服は誰がつくったの~

■ 8/2(土)~8/31(日)



私たちが毎日身に着ける「服」は、カラダを覆うという機能をこえて、自分を表現したり、自信や高揚感を与えてくれるもの。でも、その服が誰かの犠牲の上に作られているとしたら?環境を壊してまで作られているものとしたら?「何を買い、何を着るか」を考えるきっかけになることを願って、展示を実施しました。

ケーキ箱のお部屋づくり

■ 8/16(土)



廃棄される床材や壁紙、カーテンなどの生地を使って、ミニチュアのインテリアをコーディネート!ケーキ箱の中に思い思いの理想のお部屋を作りました。長時間のイベントでしたが、どの子どもとも集中して作業している姿が印象的でした。最後にはそれぞれ完成したお部屋のコンセプトも発表して、充実したワークショップになりました。

水の惑星地球を救え! ぐるぐるトルネード実験

■ 8/23(土)



私たちの生活に欠かせない水。普段の生活でどれくらい汚れているかを、ペットボトルをシャカシャカ振るトルネード実験で試してみました。見過ごしがちですが水は限りがある資源で、一人一人が水を大切に使うことが重要であると学びました。

まちなかブッククラブ

~この本について語ろう~ 課題本『より少ない生き方 ものを手放して豊かになる』

■ 8/24(日)

音読の時間

テーマ「大地に生きる」

■ 8/29(金)

毎月のイベントもSDGsをテーマに開催!音読の時間は「大地に生きる」をテーマに、ブッククラブは『より少ない生き方 ものを手放して豊かになる』(ジョシュア・ベッカー著)を課題本として開催しました。



イベントPick up!

作家 松井玲奈さんが語る本のはなし

11/1(土)

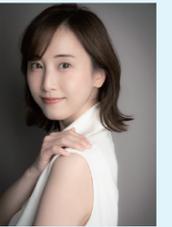
開館時から当館のスペシャルライブラリアンを務める俳優・作家の松井玲奈さん。今回はじめて、松井玲奈さんご本人が登壇するトークイベントが実現しました。最新の著書『カット・イン/カット・アウト』の創作にまつわるエピソードを中心に、本にまつわる様々なトークを展開。会場には10倍を超える倍率を勝ち抜いた50名のお客さんが集い、松井さんの語りに耳を傾けていました。

「演じる」をテーマに描いた『カット・イン/カット・アウト』は、舞台の仕事をするなかで着想を得た作品だったそう。「素晴らしい才能を持っているのにスポットライトがあたらぬ人たちがいる。そういう人にスポットライトをあてる小説を書きたかった」と語り、物語を書き上げるまでの編集者さんとのやりとりや、当初はバッドエンドになる予定だったという意外なお話も伺うことができました。また、子どものころ地元の書店に週に一度は通っていたというエピソードや、いつか絵本や児童書を書いてみたいという夢についても聞かせていただきました。



松井玲奈プロフィール

1991年生まれ。豊橋市出身。2008年デビュー。近年の主な出演作はNHK朝ドラ「おむすび」、大河ドラマ「どうする家康」。2019年に「カモフラージュ」を刊行し小説家デビュー。最新作は「ろうそくを吹き消す瞬間」。現在、舞台『ハリリー・ポッターと呪いの子』にてハーマイオニー・グレンジャー役で出演中。



展示Pick up!

本を作る 本を繕う

10/18(土)~11/19(日)



大豊商店街とまちなか図書館2階デッキで開催された、まちなかブックストリート関連特集。何か表現したいと思っている人へ「本って実は自分で作れるし、誰かに直接届けることもできるよ。やってみない?」という提案です。製本の種類が分かるミニサンプル本、図書館で実際に使っている本の修理道具も展示しました。

展示Pick up!

手筒花火が紡ぐ 夏の物語

6/18(土)~7/31(日)



豊橋の夏を語る上で欠かせない手筒花火。豊橋市在住の写真家・鈴木秀総氏によって撮影された降り注ぐ火の粉とその瞬にかける揚げ手の表情に、多くの方が足を止めていました。デジタルキャプションでは撮影データの公開も行いました。